

牛久：学校周辺に見る自然

第44号 中根小，ひたち野うしく小

2010年11月03日発行

＜秋の水辺公園を歩きました～赤トンボ＞

11/2、午前中は中根小の1年生と、午後はひたち野うしく小の4年生と、ひたち野西近隣公園(通称 水辺公園?)を歩きました。午後は日がかげってしまい昆虫たちはあまり現れませんでしたが、いろいろな秋の生き物たちの様子を観察できました。何回かに分けて報告しますが、今回は赤トンボ。多く見られたのは次の3種類でしたが、どこが違うでしょう？



ノシメトンボ



ナツアカネ



アキアカネ

まず一番上のノシメトンボは、翅のふちに大きな黒っぽい模様があります(他の2種は小さな点)。

次にまん中のナツアカネは、胸のまん中の黒い帯が途中でスパッと切れていて、秋には顔まで真っ赤になります。

そして一番下のアキアカネでは、胸のまん中の黒い模様は斜にだんだん細くなります。

飛んでいるとなかなか分かりませんが、とまったらどの赤トンボか観察してみましよう。

【理科支援員
・宮内】